令和5年度 いわての物産展等実行委員会事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったことから、予定していた物産 展等のイベントも通常の賑わいが復活し、県産品のPRと販売促進を行うことができた。ニューヨ ーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」の2番目に盛岡市が紹介されたことの影響も あり、インバウンドはもとより、国内からの関心も高くなった中で、本県が誇る農林水産物や加 工食品、工芸品の魅力に触れていただくため、イベントでのPRや販路開拓に向けた事業に取り組 むなど、関係機関等とも連携を図り、県産品の品質向上や販路拡大に向けた各種事業を実施した。

1 物産販路拡大開拓事業

(1)物産展

ア 「いわてマルシェ2023 (川徳展)」

県内各地から55事業者が出展し、各事業者選りすぐりの食品や工芸品など自慢の逸品を 販売した。百貨店での試食も本物産展より解禁されたため、試食を楽しみながら商品を購 入している来店客の姿が多くみられた。

初日は、来場者プレゼントとして先着200名にブランド米「銀河のしずく」と「金色の風」 の配布を行い、集客を図ることができた。

[会 期] 令和5年5月24日~28日(5日間)

[場所]パルクアベニュー・カワトク(盛岡市)

[出展者数] 55社(食品35社、工芸20社)

「売 上 額] 21,231千円 (前回比103.3%)





イ 「第4回岩手県の観光と物産展(名鉄展)」

新規事業者も8社出展し、東海エリアで直接消費者に販売することができる貴重な催しとなった。イートインコーナーで提供した、ぴょんぴょん舎の「盛岡冷麺」には長い行列ができたほか、岩手が誇る名産品や人気商品を求めて来店する客の姿が見られた。また、物産展を盛り上げるため、ミスさんさ踊りとマスコミ各社にメディアキャラバンで訪問した他、会場内で演舞披露を行うなどの賑やかし企画を実施し、会場は賑わった。

[会 期] 令和5年8月30日~9月4日(6日間)

[場所]名鉄百貨店本店(名古屋市)

[出展者数] 53社(食品39社、工芸14社)

[売 上 額] 57,112千円(前回比115.5%)





ウ 「第52回大いわて展(日本橋髙島屋展)」

令和2年~4年度は13日間の会期であったが、今回は6日間会期での開催となった。 「世界が注目する盛岡」をピックアップし、週末にはわんこそばの体験イベントやミス さんさ踊りによる演舞披露を行ったほか、岩手県政150周年記念のパネル展示など本県の特 産品と観光をPRする企画を実施した。会場内には購入した商品を飲食できるフードコート を設け、アルコールと一緒に総菜や弁当を楽しむ客で盛況であった。

[会 期] 令和6年3月13日~18日 (6日間)

[場所]日本橋髙島屋(東京都中央区)

[出展者数] 54社(食品49社、工芸5社)

[売 上 額] 77,110千円(前回比78.5%、1日平均売上12,851千円)※前回は13日間会期 ※前回1日平均売上7,553千円)





エ バイヤー招請事業

県内事業者の販路開拓を促進するため、名鉄百貨店及び日本橋髙島屋のバイヤーを招請し、県内事業者とのマッチングに取り組むとともに、各物産展に出展する事業者との個別商談を実施した。

① 名鉄百貨店バイヤー来県

[実施日] 令和5年6月7日~8日、7月5日~6日[訪問先] Tregion、いわて門崎丑牧場、浄土ヶ浜パークホテル、栗駒茶屋 (イーハトーブ東北)、東山製紙、澤井工房

② 日本橋髙島屋バイヤー来県

[実施日] 令和5年12月14日~15日、令和6年1月26日~27日、2月14日~16日[訪問先] 三陸の味高帆(若大将)、NAGASAWA COFFEE、東家、花巻温泉、前沢牛オガタ、K. S. P、ベアレン醸造所、久慈琥珀、ジェイプランニングてしごと屋、中新

(2) 販売会「IWATE FOOD&CRAFT AWARD 販売会」

「IWATE FOOD&CRAFT AWARD2023」で入賞した商品について、アンテナショップ等を活用した販売会を開催し、販売拡大の支援を行った。直接商品に触れてから購入する機会となり、商品の認知度向上につながった。

- ① [実 施 日] 令和6年1月4日~31日 [実施場所] AZLM CONNECTED CAFE manorda いわて店(盛岡市)
- ② [実施日] 令和6年1月9日~1月27日 [実施場所] らら・いわて盛岡店(盛岡市)





(3) 商談会「いわて食の大商談会 2023」

県内食品関連事業者の商品力向上や販路開拓を促進するため、県内外事業者との商談機会となる「いわて食の大商談会」を岩手県・金融機関等と連携し、盛岡市で開催した。出展者数・来場者数ともに前年を上回り、全国各地から訪れたバイヤーとの積極的な商談シーンが見られ、多くの商談成立が生まれた。来場したバイヤー及び出展者の満足度も高い結果となった。

[開催日]令和5年6月13日

[場所]ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング(盛岡市)

[出展者数] 103社

[来場バイヤー数] 188社436名

「実績 〕取引件数:157件(前回比114.5%) 総成約額:58,800千円(前回比129.8%)





(4) オンラインストア販売

コロナ禍以降ニーズの高まったオンラインストアでの販売支援を継続し、県産品の更なる販売促進を図るため、「買うなら岩手のものバーチャル物産展」において利用できるクーポンを発行し、販売促進キャンペーンを実施した。

また、オンラインストアの利用を促すため、WEB広告を配信した他、岩手県と連携し、いわて花巻空港にQRコード付きの常設看板を設置した。

[実施日]令和6年3月8日~3月20日

[クーポン発行枚数] 300枚 (1,000円引きクーポン)

[出品事業者数] 207事業者(775品) ※3月末時点での登録者数

[売 上 額] 1,600千円 (クーポン利用による売上額)





(5) 工芸品販路開拓

県内で生産された工芸品の展示即売を通じて広く紹介宣伝するとともに、工芸品製造事業者の新たな販路開拓支援を目的として、岩手県及び岩手県産株式会社とともに「いわての手しごと展」を開催した。

「会期〕令和5年10月20日~22日(3日間)

「場 所] 盛岡地区勤労者共同福祉センター(矢巾町)

[出展者数] 17社

「売 上 額] 2,581千円(前回比137.8%)





2 県産品普及向上事業

(1) いわて特産品コンクール

県内事業者が製造する優れた商品の普及や新商品開発の促進等を目的に、「IWATE FOOD& CRAFT AWARD 2023」を開催した。

入賞者には、入賞シールの贈呈や広報誌での商品紹介を行ったほか、県内外の見本市・物産展等への出展経費の一部を補助し、販路拡大の支援を行った。また、県と連携し、いわて花巻空港内にある岩手県物産展示場に入賞商品を展示し、PRを行った。

① 審査会

[開催日] 令和5年11月15日

[場所]岩手県工業技術センター(盛岡市)

[出 品 数] フード部門 40 品 (27 事業者) 、クラフト部門 18 品 (15 事業者)

② 表彰式

[開催日]令和5年12月8日

[場所]エスポワールいわて(盛岡市)

[表彰数] フード部門4品(4事業者)、クラフト部門4品(4事業者)





(2) 事業者育成支援

県内事業者の新商品開発の機運醸成と、地域産品の商品力・販売力の向上を目的に、事業者がとりまく課題や対策の好事例について情報交換し、交流する場として、「IWATE FOOD&CRAFT事業者連携交流会」を開催した。

[開催日]令和5年12月8日

「場 所]エスポワールいわて(盛岡市)

「参加者]47名

[セミナー①] テーマ:品管はつらいよ ~ 生菌数検査だけじゃない日常~

講 師:(地独) 岩手県工業技術センター

食品技術部首席専門研究員兼部長 伊藤 良仁 氏

[セミナー②] テーマ:企業間コラボレーションの好事例とコツ

講師:岩手県産業創造アドバイザー 金井 毅





(3) 市町村産業まつり等への助成

地場産業の活性化を促進するため、市町村が開催する産業まつり、業界団体等が開催する創作展、土産品まつり等に要する経費の一部を助成した。

[助成実績] 25 市町村・2団体 [助成金額] 1,237,000円

(4) 県産品愛用運動

県産品の消費拡大を目的とした「買うなら岩手のもの運動」を促進するため、岩手県と連携し、「いわての手仕事展覧会」会場内にて工芸品ノベルティの配布を行い、県内外からの来場者へのPR活動を展開した。

[開催日]令和5年11月3日~4日

[場所] 岩手銀行赤レンガ館、岩手県公会堂(盛岡市)



